

学校経営について

- ・中高一貫教育校としての特色を生かすために、教育課程はもとより組織体制や学習内容にわたり編成・充実したものにしていける。
- ・各行事とスクールポリシーを紐づけて見える化していく。
- ・ホームページや学校だよりを活用し、学校の様子を知らせる機会を増やす。

学習指導

- ・どの生徒にも授業満足度が高まるように、授業評価を授業の中で定期的に入れていき、授業改善に努める。
- ・中高一貫教育校としての特色である国語、数学、英語の先取り学習については発展的な内容を含めた指導の充実を図る。
- ・アカデミックプログラムの内容を充実させ、生徒の興味・関心を引き出す機会を与え、自ら学ぶ姿勢を身に付けた生徒の育成に努める。
- ・先進校の視察や県立中学との授業研究の交流を通じて、教員の研修と修養に励む。
- ・一人一台 GIGA 端末が活用できるよう、使用機器の改善・充実を図り、AIドリル導入の検討を進める。

生徒指導

- ・いじめの調査や面談を定期的に行い、早期に実態把握をして解決していく。
- ・スマートフォン等の使用についての指導を家庭、学校が協力して取り組む。講演会等を利用し指導の機会を増やす。
- ・「学校の生徒指導を自分の成長の機会ととらえる」ことができるような声かけを行っていく。

進路指導

- ・キャリア教育を系統的に行い、目先の進路だけでなく、将来にわたって望ましい進路選択ができるような進路指導を行う。キャリアパスポートの積極的活用を行う。
- ・スタープログラムにより、大学の研究者から専門的な知識を学んだり、修学旅行や校外学習における大学訪問を実施したりすることで、進路選択の充実を図る。

特別活動等

- ・中高での生徒会活動を連携させ、自治能力の育成を図る。
- ・学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインに沿った指導を行う。
- ・生徒が主体的に取り組める学級活動、生徒会活動の場を増やす。

学校図書館

- ・生徒会図書委員会を充実させ、さらに利用の機会を広げ、読書習慣を身につけさせたい。

保健・安全指導

- ・教育相談に対する生徒の評価が低かった。日頃から全教員が生徒の様子の変化に敏感になり、教員同士や保護者との連携を密にとっていく。その上で、教員による教育相談の機会の前にアンケート実施するなど工夫して、スクールカウンセラーの活用を推進したりして支援の必要な生徒への対応を進めていく。
- ・教育相談やカウンセリングについて、生徒や保護者にさらに周知するよう努める。
(日時・申し込み方法・学校以外の関係機関など)
- ・交通安全について指導の機会を増やし、ルールやマナーについての意識向上に努める。

食育に関する指導

- ・食育だよりの活用を充実させる。

人権教育

・人権意識を高める学習指導や職員研修が充実してきた。差別を見過ごすことがないように、また、差別に対していつでも声が上げられる環境づくりを行っていく。LGBTQ 等の新たな課題に対しても研修を取り入れて、人権感覚を磨いていく。

環境教育

・教科学習をはじめ全教育活動を通じて環境に対する意識を高めさせ、自ら環境保全に取り組める生徒の育成に励む。
・SDGsについて学ぶ機会を設け、実践的態度を育てる。

その他

・Web ページや Twitter の適時性に力を入れ、学校情報の積極的な発信に努める。また、学校の特色や活動を広く一般の人にも知らせるよう、新聞広報活動にも努める。